

第50回（2020年度）優秀制作技術賞 受賞候補者公募

一般社団法人 日本映画テレビ技術協会

下記の優秀制作技術賞規定をお読みの上、候補推薦書にてご応募下さい。

優秀制作技術賞の運営選考の実施に関する規定

1. 名称

本賞を一般社団法人日本映画テレビ技術協会優秀制作技術賞という。

2. 本賞設置の趣旨

広く映画、テレビ、科学映像、イベント・プロモーション映像制作の諸技術に従事する、技術者の奨励となることを目的とする。

3. 受賞の対象

映画、テレビ、科学映像、イベント・プロモーション映像制作の諸技術に従事している技術者で、他の模範になり得る業績をあげた者とする。

4. 受賞の資格

その職種に携わっておおむね10年までの個人とし、国籍は問わない。

5. 運営と選考

毎年度ごとに会長から委嘱をうけた若干名の委員により運営と選考を行い、受賞該当者の決定は理事会が行う。

6. 公募方法

協会指定の公募様式による。

7. 推薦人の資格

受賞候補者の推薦人は本協会会員とする。

8. 表彰

理事会で承認された受賞者に、総会の席上、賞牌を贈る。

◎ 本年度公募締切日 2021年4月1日（木）

公募用紙各欄（推薦理由はできるだけ詳細に）にご記入の上、締切日までに候補者の経歴書を1通添付し、優秀制作技術賞委員会宛にご送付下さい。

■■■■■■ 優秀制作技術賞（柴田・鈴木賞）について ■■■■■■

本賞は、従来柴田賞、鈴木賞へお寄せ頂いた基金をもとに、それぞれ業績の認められた方々への顕彰事業として行ってきたが、その趣旨を尊重継承し、「優秀制作技術賞」として統合されたものである。

柴田賞は、当協会名誉会員・故柴田良隆氏（現・IMAGICA Lab.）が、生前1971年に本協会に基金を寄せられ、柴田賞が生まれた。同賞は、後進の育成に力を尽くされた故柴田氏のお気持ちを汲み、各分野の若い技術者の奮起を促し奨励することを目的に設立された。

鈴木賞は、当協会名誉会員・故鈴木喜代治氏が1989年に没せられた後、ご遺族より本協会に基金が寄せられ、鈴木賞が生まれた。同賞は、科学映画の撮影に多大な功績をあげられた故鈴木氏に因み、科学映像の撮影技術者を対象としたものである。

第 50 回（2020 年度）優秀制作技術賞候補推薦書

年 月 日 提出

1. 被推薦者名

(ふりがな)

年 月 日 生

住所：〒

社名：

所属：

TEL：

E-mail：

(ご連絡先になります。自宅又は会社をご記入下さい。)

2. 推薦理由 (できるだけ詳細に)

候補者の経歴書を1通添付し、ご提出ください。

3. 推薦者名

氏 名

印

住 所 〒

TEL ()

Fax ()

※ 受 付

受付日

経歴書確認

番 号

※欄記入不要